

## ～シドニー旅行記～

弁護士 田中 勇輝

昨年の1月、オーストラリアのシドニーに3泊5日で行ってきました。

シドニー国際空港までは、行きは伊丹～羽田、羽田～シドニー便という少し複雑な経路で出発となりました。飛行時間は10時間弱と長距離フライトですが、夜の羽田発、翌朝シドニー着でしたので、そこまで疲れずに到着することができました。

空港からホテルまでは、そこまで距離がないようでしたので、あまり下調べせずにタクシーで行こうということになったのですが、これが今回一番の失敗でした。

タクシー乗り場はUberタクシーの乗り場と普通のタクシーの乗り場に分かれていたのですが、何の気なしに普通のタクシーに案内され、ホテルまで行ってもらうと、何と日本円で13,000円ほどかかってしまいました。距離があれば、そりゃそうなるだろうと言われるかもしれませんが、帰りに空港まで行くときには、ホテルの人にUberタクシーで行くのが一番安いと言われ、Uberに登録すると、Uberタクシーでは、最初から到着地を指定でき、料金も表示された上で予約となります。そうすると、その料金が日本円で4,500円ほどと、行きの3分の1となっていました。タクシーはその2回しか乗っていないので、行きがぼったくられたということなのか、Uberが激安になっているだけなのか良く分かりませんでしたが、とにかくオーストラリアではタクシーはUberにしておいた方が良いことだけは確かです。



その後、1日目は、写真のとおり、シドニーと言えばの、オペラハウスとハーバーブリッジを観に行きました。海と橋とオペラハウスの独特な建造物が一体になった広場はとても良い雰囲気でした。またその近くにあるスターバックスもトラディショナルな建物に入っており、良かったです。

シドニー内の移動手段は、バス、電車に加えて、ライトレールという路面電車が走っているの、オペラハウスまでは路面電車で移動です。

この路面電車に乗って驚いたのが支払方法です。日本で言うSuicaのようなカードを買うのかと思いきや、普通のクレジットカードのタッチ決済で支払ができたので、とても便利でした。未だに使ったことがありませんが、最

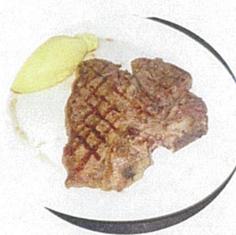
近、日本の電車でもクレジット決済用の機械が付けられているようですが、海外の人はそれで乗り降りしているのかもしれないですね。

その後は、たまたま子どもの同級生家族が同じタイミングでシドニーに来られていたので、二家族で、シーフードレストランに行きました。トリップアドバイザーで検索した「Fish at the Rocks」というお店です。

海鮮はとても美味しかったのですが、日本だったら1万円強くらいかなという量で、2万5000円くらいの支払いとなり、やはり日本以上に物価高となっているのを実感した次第です。

2日目は、シドニーの海岸沿いにある、ワイルドライフシドニーという動物園と水族館両方が楽しめる施設に行きました。そこでカンガルーとコアラも見ることができ、子どもも満足していたようです。

その日の夜は、ステーキハウ



スに行ってみました。ここは昨夜のシーフードレストランと違って、お手頃な値段でステーキを食べられました。日本のようなサシの入ったものではなかったですが、オージービーフは和牛より安いんでしょうかね。

3日目は、バスに乗って、ボンダイビーチというビーチまで出向きました。1月のシドニーは真夏に当たるようですが、最高気温で25℃くらいと、薄い長袖でもちょうど良いくらいの季候で、暑すぎずちょうど良かったです。しかし、問題は紫外線です。シドニーは日本より紫外線がかなり強いらしく、このビーチには数時間いただけなのですが、日焼け止めを塗っていなかった私は翌日から日焼けの痛みに苦しむこととなりました。暑くないからと舐めてしまっていました。

最終日の夜は、徒歩でチャイナタウンまで歩き、フードコートで中華を食べました。シドニーではあまりライスが出て来ず、付け合わせもとにかくポテトばかりが出てくるので、中華が食べられてほっとしました。

二男がまだ1歳だったため、のんびりとした旅になりましたが、シドニーは欧米のような街の雰囲気を味わうことができ、また気軽に行ける動物園や水族館も市街地にあるため、とても良かったです。

タクシーの値段には驚かされたので、次に海外に行く際には、必ず何が安いのか調べてから乗るようにしたいと思います。